

CCSコーヒーが毎月お届けするコミュニケーション誌



CCS COFFEE NEWS

Coffee &
Communication

1

2024

vol.564



今月の
コーヒー

1月のおすすめ

サフラノヴァ (SAFRA NOVA)

—— ブラジル ——



年に一度のお楽しみ

今年のサフラノヴァは、高品質なコーヒーを産出するサンパウロ州の農園から収穫したばかりの新豆を船積。今回は新豆の中でも高品質なロットを選定。フルーティーで芳醇な風味の中に、確かな甘味とボディが感じられます。まさに、年に一度のお楽しみのコーヒーです!

令和六年 新年ご挨拶



代表取締役社長 服部 雄高

日頃よりシーシーエスコーヒーをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。
お陰様で弊社は昨年9月に創業70周年を迎えることができました。この場を借りて、深く御礼申し上げます。

新年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年はコーヒー需要の回復に向けた1年でした。新型コロナウイルスが感染症法上5類に移行されて以降、行動制限がなくなり、さらにはインバウンドの増加もあり、外食産業も活気を取り戻してきました。外出する機会が増えれば、喫茶店・カフェでの消費は活発になります。

一方、コーヒー生豆相場は、産地の天候不順や記録的な円安により、未だ高い水準で推移しています。お客様には大変厳しい環境の中、価格改定にご理解いただき、御礼申し上げます。

また、コーヒー生豆に限らず、食材や光熱費の高騰、人手不足といった課題に直面し、店舗経営は引き続き厳しい状況が続いております。そのため、コストアップに対応するべく、“値上げ”もしくは“品質、量、サービスの見直し”が求められています。ここで注意していただきたい点は、“品質やサービス低下”による客離れこそ心配すべきだということです。

わたしたちにとってコーヒー、喫茶店・カフェはもはや生活の一部であり、嗜好品にして、生活を豊かにするかけがえのないものです。毎日のように接するものは、心地よいものでなければ長続きしません。安からうまずかろうでは、次第にお客様は離れていきます。今は価値のあるもの、お客様にとって必要なものであれば、きちんと対価を支払ってくれる時代です。是非、ご留意いただければ幸いです。

弊社も消費者ニーズの変化を捉え、皆さまの商売繁盛のご支援ができるよう、集客や来店客の消費喚起につながる提案に努めて参ります。

2024年がお客様にとって、良い1年となることを心よりお祈り申し上げます。
本年も変わらぬお引き立ての程、よろしくお願ひ申し上げます。



取締役営業本部長 徳田 政司

届けするため、ご理解いただきますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

コロナ禍を経て、ランチタイムの需要が大幅に増加し、カフェ・喫茶店に注目が集まっています。また、ランチタイムの他にも、我々にはモーニングという強みがあります。この機会を逃さず、モーニングとランチを活かして売上増につながるさまざまなご提案ができるよう、精進してまいります。

3月には数年ぶりに「コーヒー提案会」を企画しております。弊社おすすめコーヒーの飲み比べや人気レジ横商品の試食、最新の抽出器具の体験会など、集客や来店客の消費喚起につながるような内容を検討中です。詳細が決まり次第、営業担当から改めてご案内いたします。

今後とも、ご愛顧のほど、よろしくお願ひいたします。



工場長 香ノ木 潤治

と相まって小売用商材から業務用まで幅広く商品をお届けできるようになりました。

より高品質なコーヒーを安定的にお届けし、幸せな気持ちになっていただける美味しいコーヒーを作れるよう、日々精進してまいります。

2024年が皆様にとって良き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。本年もより一層のご愛顧、ご愛飲のほどよろしくお願ひ申し上げます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は行動制限解除により、以前はこうだったと改めを感じることが多々ありました。日常が戻って来る一方、店舗運営においては、食材や光熱費の大幅な値上がり、人手不足など、気苦労の絶えない一年でもありました。

私共も、高値が続くコーヒー生豆相場に加えて大幅な円安や原価、加工費の高騰により、価格改定のお願いをさせていただきました。高品質のコーヒーを安定的にお

平素より私どものコーヒーをご愛飲いただき、誠にありがとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

お陰様で、弊社は昨年9月に創業70周年を迎えることができました。プロバット焙煎機も稼働して50年以上経ちますが、まだまだ元気に活躍しております。最新のワンドリップコーヒー充填包装機も稼働し、従来の窒素置換充填包装機



コーヒー業界の最新情報!

COFFEE TOPICS

2024年
1月版



生産地が半減!? コーヒーの2050年問題
全日本コーヒー協会が生産者支援強化を表明

このまま地球温暖化による気候変動が続くと、2050年にはアラビカ種コーヒーの栽培適地が2015年比で50%減少すると予測されています。そのため全日本コーヒー協会は従来の消費拡大路線から生産者支援に軸足を移していくことを、今般の総会で決議しました。

今後、全日本コーヒー協会は“コーヒー生産国における持続可能な生産を確保し、世界のコーヒー産業全体が持続的に発展していくことを目指し、国際コーヒー機構（ICO）などの国際機関とともに連携して、世界のコーヒー産業の持続的発展に役立つさまざまな活動を支援していく”との方針を打ち出しました。

発表! 美味しいコーヒーの店 2024

「美味しいコーヒーの店 2024」、認定店を発表!
認定店の詳細は、「美味しいコーヒーの店 2024」ガイドパンフレットをご覧ください。

喫茶軽食 来亞玖 愛知県あま市本郷郷前22 ☎052-443-0339
こひーのもっさん 愛知県あま市七宝町川部折戸74 ☎080-9732-0290

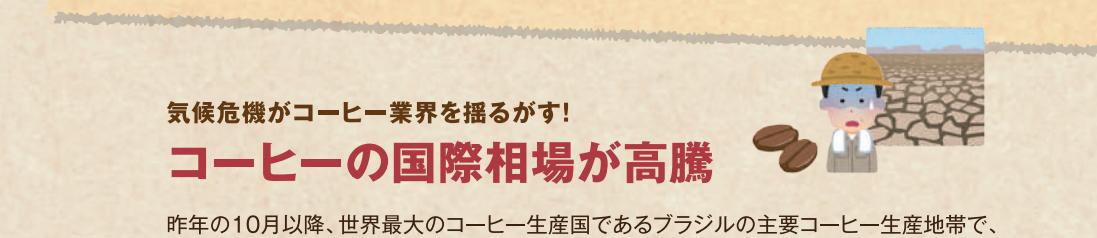


アメリカ合衆国農務省(USDA)が発表
ブラジルのコーヒー生産予想引き下げ

アメリカ合衆国農務省(USDA)は、ブラジルコーヒーに関する最新の半期報告書を発表しました。ロブスタの生産量の減少予測により、2023/24年度のブラジルの生産量の予測を、当初の6,640万袋から6,630万袋に引き下げました。

なお、アラビカ種の生産量は、作付面積の増加や収率の向上、天候に恵まれたこともあり、前クロップ比12.8%増の4,490万袋に達すると予想。主要産地であるブラジル・ミナスジェライス州の生産者によると、その収穫量に大きな自信があると言っています。

他方、ロブスタの生産量は2,140万袋と予測されており、前回6月に予測した2,170万袋と比べて1.4%減少、前クロップに比べると6.1%減少しています。世界第2位のコーヒー生産国であるベトナムのロブスタの生産量も2,662万袋と、前回6月の予想に比べて12%減(361万袋減)となっており、ロブスタ種の需給バランスが大きく崩れています。



気候危機がコーヒー業界を揺るがす!
コーヒーの国際相場が高騰

昨年の10月以降、世界最大のコーヒー生産国であるブラジルの主要コーヒー生産地帯で、極端な干ばつが発生しています。原因は4年ぶりに発生したエルニーニョ現象によるもので、これによりアマゾン川の水位も大幅に低下していることがニュースで報じられています。

このような気候危機により、コーヒー生産者が相場の高騰を見越し、売り渋っていることから市場への供給量が減少。先物決済に使用される「認証在庫」は24年振りの低水準となりました。そのため、市場では今後の需給の引き締めを意識した買いの勢いが強まり、昨年12月中旬には半年ぶりに200セントを超える高値を付けました。2024年も厳しい調達環境になりそうです。

COFFEE SHOP コモ・ドール 愛知県岡崎市井田南町5-2 ☎090-4440-3050

サンクス洋菓子店 愛知県豊田市浄水町伊保原178-4 ☎0565-43-3353

カフェテラス サファイヤ 愛知県丹羽郡大口町新宮1丁目131 ☎0587-95-3981

KAIJU CAFÉ 岐阜県海津市平田町野寺2357-2 ☎050-8884-2708

ay's café 大垣 岐阜県大垣市墨俣町ニツ木268-1 ☎0584-47-5688



シーシーエスのコーヒー作りへの思い

おかげさまで70周年。シーシーエスがコーヒー作りに込める思いを紹介いたします。

第1回〈はじめに〉喫茶店大国 名古屋のコーヒー職人として

喫茶店大国、名古屋。モーニングを代表に、この街では喫茶店を日常的に楽しむ文化が根付いています。街中であれば、どこにでも喫茶店を見つけることができるほど喫茶店の密度が高く、メニュー やサービスの質は非常に高いです。老舗の喫茶店も多数あり、昔ながらの雰囲気を楽しめるこ も魅力のひとつです。

「シーシーエスコーヒー(創業当時は服部コーヒー店)」は、喫茶店文化が生活に深く根ざす名古屋で、1953年からコーヒー作りをはじめました。以来、わたしたちは“喫茶店大国 名古屋のコーヒー職人”であることに誇りを持ち、常にお客様と品質を第一に考え、“美味しいコーヒー作り”に真摯に向き合ってまいりました。“美味しい”的に、わたしたちのコーヒーには、たくさんのかだわりや思いが詰まっています。

次回より、生豆選定や焙煎、ブレンド、包装といった“弊社のコーヒーへのこだわり”をトピック毎に掘り下げてお話ししていきます。お客様のコーヒーへの自信と信頼の一助となれば幸いです。

CCSがお届けする今月のニュース

名古屋のコーヒー店がコラボ！ 名鉄商店から「飲み比べドリップコーヒー」新発売！

名古屋駅の名鉄百貨店本店・メンズ館1Fにある名鉄商店。名鉄商店は「うれしいをアゲる」をコンセプトに、愛知・岐阜の名鉄沿線地域の事業者と協業して開発したオリジナル商品を販売するお土産屋さんで、地域の新たな魅力や価値を再発見することを目標としています。今回、その名鉄商店で「老舗・新興」をキーワードに、名古屋のコーヒー店7店舗がコラボした「飲み比べドリップコーヒー」が発売されました。ドリップバッグの充填は、弊社が担当させていただきました。

弊社のドリップコーヒーは、主力のマイルドブレンドに少し深みを加えた朝用のモーニングブレンドです。近くにお越しの際は、ぜひ店舗へお立ち寄りください。



コラボ店
一覧

coffee Kajita / CAZAN珈琲店 / KANNON COFFEE / TRUNK COFFEE
喫茶ニューポピー / 松屋コーヒー本店 / シーシーエスコーヒー

【名鉄商店】中村区名駅1-2-4名鉄百貨店本店 メンズ館1F 営業時間:10:00~20:00
オンラインショップでもお買い求めいただけます。 [名鉄商店](#)

バレンタインドリップコーヒー & 珈琲チョコ

毎年恒例のバレンタイン限定「ドリップコーヒー」「珈琲チョコ」のご紹介です。ドリップは“コーヒーでありがとうの気持ちを伝える”をコンセプトにメッセージを記入できるスペースを用意しました。バレンタイン以外のシーンもご活用いただけます。バレンタインを演出する商材としていかがでしょうか？



◆バレンタイン限定
ドリップコーヒー
1セット(6杯分)～
※デザインは1種類



◆珈琲チョコ
1袋(100g)×5袋～
※既にお取り扱いのお客様には、バレンタインシール1シート(12枚)をご用意しています。

2023年 コーヒー業界重大ニュース(全日本コーヒー協会)

- 1 コロナ5類移行による人流の拡大でホテル・レストラン・カフェ等におけるコーヒーの需要が回復
- 2 2022/23年度の世界のコーヒー消費量は3年連続で増加の見込み
- 3 コーヒーの国際価格の相場は高止まり、ロブスタ種の価格高騰でアラビカとの価格差縮小。急速な円安も重なり各社、逐次価格改定
- 4 若年層をターゲットにサステナブルなコーヒーや情緒的価値を切り口とした商品・コミュニケーションが増加、各種イベント・展示会も活況
- 5 全日本コーヒー協会は、国際コーヒー機関(ICO)を通じ、国際労働機関(ILO)によるコーヒー・サプライチェーンにおける労働安全衛生改善プロジェクトに資金支援
- 6 ブラックコーヒーのスティックタイプ、「飲む」以外の商品など多様なニーズに応える提案増える
- 7 各社国内外で产地支援の取組を強化・発信
- 8 コーヒーを探究する動き。各社コーヒー教室が人気、全日本コーヒー商工組合連合会主催の検定は地方にも広がる
- 9 コーヒーグラウンズ(抽出後のコーヒー粉)や麻袋、アップサイクルの機運に乗り活用進む
- 10 全日本コーヒー商工組合連合会がレギュラーコーヒーフェア2023を実施、初の「喫茶店周遊MAP」を作成
- 11 コーヒー業界で脱炭素の取組進む。グリーン電力等によりCO2排出量原単位が対前年度比11.4%減と大幅に減少



来月の
コーヒー

「今月のコーヒー」として、元気なお店づくりにいかがですか？

2月のおすすめ

ロス アンデス農園



ボリビア

柔らかな甘味とスパイシーさが感じられる透明感のあるコーヒー

ウユニ塩湖で有名なボリビアは南アメリカ大陸のほぼ中央部にあり、国土面積は日本の約3.3倍。その国土の3分の1をアンデス山脈が占めており、標高6,000m級の山々が連なる高地の国です。コーヒー栽培はアンデス山脈の東側と熱帯雨林にはさまれた比較的標高が低いエンガス地方で行われています。今回のロス アンデス農園のコーヒーは、エチオピア在来種から派生したジャバ種と呼ばれる大粒のコーヒーです。柔らかな甘味とクローブのようなスパイシーさがあり、透明感のあるコーヒーです。あまり耳にすることのないボリビアコーヒーですが、スペシャルティコーヒーとして高い評価を受けています。の中でも非常に希少価値の高いジャバ種のコーヒーをこの機会にぜひお楽しみください。



抽出方法 ペーパー サイフォン ネル

詳しくは営業担当までお問い合わせください。



ボン・ボヤージュ
コーヒー新時代を目指して -49-

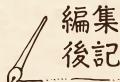
昨年、ユダヤ教の祭日だった10月7日、パレスチナのガザ地区を実効支配していた武装組織ハマスはイスラエルにロケット弾を発射し、越境攻撃をした。これは奇しくも50年前の1973年10月6日にエジプトとシリアがイスラエルを急襲した第4次中東戦争の始まりとほぼ同日であった。

50年前の同時期、私はイタリアでの視察を終え、次の訪問地であるエチオピアに向かうべく、ローマのレオナルド・ダヴィンチ国際空港にいた。私は、エチオピア航空の深夜便に搭乗するために、カウ

ンターに向かった。その隣は、イスラエルのエル・アル航空で、イスラエルの都市・テルアビブに向かうカウンターの前には軍人カットした多くのユダヤ人の若者が列をなしていた。イスラエルは世界中のユダヤ人の若者に対して、兵役参加を呼び掛けていたのだった。

私は、深夜の空港のパールでイタリア最後のエスプレッソの強烈な苦みを舌に感じながら、搭乗していく青年たちの行く末を案じていた。

(会長 服部卓也)



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もCCS Newsをよろしくお願いいたします。私が住んでいた地域では、冬になると学校で百人一首大会が開催されていました。別の地域の学校ではコマ回し大会。年の離れた妹に聞くとどちらもやったことがないと言われ衝撃を受けました。住む場所や年代によってやはり恒例行事も変わってくるのですね。